

平成21年度  
新潟大学創立60周年記念事業  
新潟大学歯学部同窓会セミナーⅡのご案内  
ビスホスホネート関連顎骨壊死 (BRONJ)  
—BP製剤使用患者への安全な歯科処置を行うために—

平成21年度同窓会学術企画第2弾標記講演会の募集案内をさせていただきます。

近年の超高齢化社会において、骨粗鬆症はもはや特別な疾患ではなく、推計では1,200万人以上の患者がいるとされ、慢性関節リウマチ治療におけるステロイド性骨粗鬆症予防を加えるとさらに50万～70万人が追加されます。BP製剤はその予防および治療薬として有効性が報告され、使用頻度はますます増加しています。さらに、悪性腫瘍の骨転移、多発性骨髄腫の治療薬として用いられることも多く、整形外科、内科など多領域において頻繁に処方される薬剤となっています。そんな中で、2003年に出されたBP製剤服用者の顎骨壊死に関する報告は、歯科臨床現場に少なからず混乱を招いたと思われます。その後、様々な報告、ガイドライン作成が行われ、おやみに歯科治療を避けるのではなく、どのように患者に対し、どのような処置が行えるのか、冷静に見極め、対処すべき時期となってきています。この度、BRONJについて、何がわかっているのか、何がわかっていないのか、何が出来るのか、何が出来ないのか、医師との関係をどう取るべきなのか、など多くの疑問に何らかの答えを見出すことができればと、パネルディスカッション方式のセミナーを企画致しました。

顎顔面外科学分野の高木律男教授にコーディネーターとなっていただき、組織学、整形外科学、病理学、歯科放射線学、歯周病学、口腔外科学の第一人者である先生方にパネリストとしてご参加いただくこととなりました。皆様におかれましては奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

**日 程** 平成21年11月29日(日)13時～16時

**形 式** 講演

**会 場** 有王記念館 2階

**定 員** 100名

**参 加 費** 3,000円

**申し込み方法** 申し込み用紙に必要事項を御記入の上、新潟大学歯学部同窓会事務局までファックスにて申し込みください。定員を確認後同窓会学術より受講申し込み受付票および受講案内をファックスにて送付致しますので指定の口座にお振り込み下さい。(当日は振込用紙控えをお持ち下さい。確認が取れない場合の証明になります。)※なお、定員に達した場合、同窓会事務局からの受講申し込み受付票および受講案内のファックスはいたしませんのでご容赦くださいますようお願い申し上げます。

FAX送信先025-229-4166 (同窓会事務局)

**振り込み先** 受講申し込み受付票に指定の口座

**締め切り** 10月31日(土)

**問い合わせ先** 渡邊直子 (ohashin@dent.niigata-u.ac.jp)  
新潟大学大学院医歯学総合研究科歯科矯正学分野 025-227-2905

※当日の申し込みはできませんのでご注意ください。

※申し込みが定員に達した場合は同窓会学術のホームページにてお知らせいたします。

主催：新潟大学歯学部同窓会、新潟大学歯学部

# ビスホスホネート関連顎骨壊死 (BRONJ)

## —BP製剤使用患者への安全な歯科処置を行うために—

ビスホスホネート (以下BP) は、ピロリン酸のP-O-P構造を、より安定なP-C-P構造に変化させた薬剤の総称であり、骨のハイドロキシアパタイトに強い親和性を持つことが知られています。歴史的には、1960年代にFleischらによりBPの骨吸収抑制作用が報告され、以後臨床応用を目指した研究の結果、1980年代後半より骨吸収が亢進する多くの疾患において用いられ、日本でも1990年頃から癌の骨転移や多発性骨髄腫、骨Paget病、小児骨形成不全、そして骨粗鬆症領域になくてもならない薬剤となりました。ところが、2003年にMarxにより顎骨に生じる骨壊死との関連性が指摘され、歯科領域では注意を要する疾患として多くの学会から取り上げられ、これまでも、いくつかのガイドラインが示されています。中でも、中心的に調査を進めていたアメリカ口腔外科学会では、2009年の1月にposition paperを発行して、ガイドラインに対する見直しが行われました。しかし、未だに不明な点も多く残されているのが現状です。今回、新潟地区の各分野の専門の先生方をお願いして、以下のパネルディスカッションを企画しましたので、奮ってご参加ください。

日 時：平成21年11月29日 (日) 13時～16時

募集人員：100名

場 所：有壬記念館 2階

受講料：3,000円

講 師：網塚憲生教授 (北海道大学大学院歯学研究科 硬組織発生生物学教室)

遠藤直人教授 (新潟大学医歯学総合研究科 機能再建医学分野 (整形外科))

朔 敬 教授 (新潟大学医歯学総合研究科 口腔病理学分野)

林 孝文教授 (新潟大学医歯学総合研究科 顎顔面放射線学分野)

山崎和久教授 (新潟大学歯学部 口腔生命福祉学科 口腔衛生支援学講座)

コーディネータ：高木律男教授 (新潟大学医歯学総合研究科 顎顔面口腔外科学分野)

タイムスケジュール 12:30 受付開始

13:00 (講演は一人25分程度を予定)

「BP製剤による破骨細胞抑制と骨壊死 —基礎研究の立場から—」 網塚教授

「骨粗鬆症治療におけるビスホスホネートの有用性とリスク」 遠藤教授

「BRONJの病理：顎骨局所における骨硬化症が原因」 朔 教授

「BRONJに特徴的な画像所見は何か？」 林 教授

「歯周治療とBP製剤服用のリスク」 山崎教授

「BRONJの予防と管理の目標設定」 高木教授

討 論 (20分程度)

16:00 終了

平成21年度

新潟大学歯学部同窓会セミナーⅡ申込書

ビスホスホネート関連顎骨壊死(BRONJ) -BP製剤使用患者への安全な歯科処置を行うために-

平成21年 月 日

受講者氏名	
出身大学	本学・他( )
卒業年または期生	年卒 第 期生
住所	〒 -
電話	市外局番 - -
ファクシミリ	市外局番 - -
E-mail	@

**申し込み締め切り 10月31日**

※申し込み用紙の項目記入漏れがないようご注意ください。

通信欄：同窓会への要望、今回のセミナーへの質問事項などありましたらご記入ください。

--